

辰年のベトナムパワーを浴びて

下松 岩本 功

今年は 7 回目の年男で明けましたが、私には「繁栄の象徴、金運・財運に恵まれる」と言われています。巳年とは縁がなさそうではありますが、多少の期待を持ってこの 1 年間を過ごしたいと思います。

昨年の十二支は地を這うだけの巳（へビ）より自由に空を飛べる想像上の辰（龍）でした。特にベトナムでは幸運、名誉や権力の象徴とされており、その姿は社会生活の中でよく目にし、縁起の良いものとされてベトナムの文化や信仰の中で特別な位置を占めています。

ベトナムの地形を見ますと 1,650km と南北に細く、北部に頭を最南端に尾部とする龍に似ていることから、ベトナムの人々は辰年が縁起の良い年と考え、龍が天から膨大なエネルギーと共に降臨すると信じておられるようです。これまでと違う「辰年のベトナムパワー」を浴びたくて 2024 年 9 月に NPO ボランティア活動のために辰年のベトナムに行ってきた。

ベトナム語で辰（龍）はロンと言い、観光地や歴史的建造物に多くつけられている名前です。その代表的なのが皆様もご存知のハロン（降龍）湾です（写真 1）。この地名は龍が外敵を撃退する

ために降臨して膨大なエネルギーで山を打ち砕き、その砕けた山で大小約 3,000 の奇岩群（海の桂林）が出来たという「龍が降り立った場所」という意の伝説によりハロン湾と名付けられました。

この湾を訪れる世界各国からの観光客は毎年 260 万人とも言われ、米経済誌「Forbes」による「2024 年の旅行に最適な目的地トップ 24」にハロン湾が選出されたほか、2023 年の米国旅行雑誌「The Travel」でも「世界で最も訪問された自然奇観トップ 10」の第 4 位にランクされました。1 位はグランドキャニオン（米国）、2 位はテーブルマウンテン（南アフリカ）、3 位はモレーン湖（カナダ）でした。

ハロンとは逆にタンロン（昇龍）と名付けられました場所もあります。それは今のハノイ（河内）の旧称です。1009 年の中国支配下で山岳地帯の人々の反乱により小国ベトナム（李朝）が誕生し、初代皇帝の李太祖（リ・タイト）の前に名誉や権力の象徴とされていた龍が黄金色に染まって現れて天高く飛び立つのを見て、「タンロン」と名付けられたと言われています。

我々の NPO 法人のボランティア活動は SDGs（持続可能な開発目標）での「すべての人に健康と福祉を」と「質の高い教育をみんなに」を目指して 1994 年からベトナムで活動しています。30 年以上もベトナム訪問をしていますと、龍はベトナムの文化、信仰の中で特別な扱いをされており、滞在中に元気を貰ったり、人々の明るい笑顔に癒されるなどのベトナムパワーの源になっているのではと思うことが度々ありました。活動拠点はベトナム中部に位置する古都フエにある医科薬科大学に創設された NGO をカウンターパートとしています。



写真 1 ハロン湾

古都フエにはベトナム国を統一し、1802 年から 1945 年まで 13 代という長期間にわたり、絶対的な権力を振るったグエン朝王宮跡があり、ベトナム戦争での激しいフエ攻防戦では王宮は徹底的に破壊されましたが、1993 年には「フエの建造物群」としてユネスコの世界遺産に登録され、各国からの支援により復元されております。今回は復元されたばかりの龍のモチーフが至る所に散りばめられている 12 代カオダイ帝と 13 代バオダイ帝の居住兼執務室（建忠殿）を見学しまして、改めてロン（龍）の精神世界がベトナムでは今日まで脈々と受け継がれていると思いました。

またフエ郊外には死後も権力を見せつけるために退位前や死後に作られた立派な廟もあり、世界各国からの観光客でにぎわっています。まさに王宮と廟は「龍づくし」の感にあります。このようにベトナムではロン（龍）への精神が今日まで脈々と受け継がれており、ベトナムパワーを生じているのではと思っています。このパワー全開で医療支援を開始しました 1994 年に比べてベトナムの医療レベルは格段に向上していますが、社会福祉制度の向上はこれからの課題のようですので、ここ数年はボランティア活動として人材育成を目指したフエ医科薬科大学生への「奨学金寄附」とベトナム中部での「通学用自転車寄贈」による効率的な学習支援などを続けています。

これまでの通学用自転車寄贈数は徳山東ロータリークラブとの協働を含めて 140 台となり、今回は 9 月 19 日にベトナム中部のクアンビン省クアンニン県の 9 校 20 名の学生さんに台風来襲にもかかわらず無事に寄贈出来ました（写真 2）。9 月 21 日には全てのベトナム日程を終わり帰国のためにフバイ（フエ）空港へ向かう途中にあるウォーターパークが資金不足のために未完成のままで、そこにある巨大ドラゴン像が撤去されると聞きまして行ってみました（写真 3）。天空に向かって今にも飛び出そうとしている高さ 50m 余りのドラゴン像はベトナムパワーみなぎる像でした。

2025 年の我々の活動も龍の如く空に飛び出すベトナムスピリットを持ちながら、蛇の如く脱皮を繰り返しながら支援活動を続けたいと思います。

また今年の巳年は医療関係者にとっては大切な年です。ギリシャ神話の医神アスクレピオスが持つ杖に絡まった蛇の紋章は WHO や世界各国の救急車マークに使われており、人類の健康を守ってくれております事に感謝する年となるでしょう。

参考資料

1. 「李朝（ベトナム）」 フリー百科事典
2. 「ベトナム・フエ」 地球の歩き方 2025 ～ 2026
3. NPO 法人国際ボランティア IMAYA 報告書



写真 2 クアンニン県での自転車寄贈



写真 3 巨大ドラゴン像